

令和元年度

授業計画（シラバス）

実務経験者担当課目

静岡県美容専門学校

令和元年度シラバス

静岡県美容専門学校美容科

課目名	美容実習			単位数	17	授業形態	実習
教員名	蒔田 英司	望月ひとみ	実務経験等	美容師の実務経験3年以上			
教員名	長尾 紀子	堀江 則好	実務経験等	美容師の実務経験3年以上			
教員名	甲賀 雅美	手塚 久恵	実務経験等	美容師の実務経験3年以上			
教員名	岡谷 裕美	大石 朋子	実務経験等	美容師の実務経験3年以上			
教員名	黒木 ゆきの	青木 紀子	実務経験等	美容師の実務経験3年以上			
教員名	中村 恵梨香	堀 友加里	実務経験等	美容師の実務経験3年以上			
教科書	美容技術理論1・実習1の教科書						
補助教材	プリント、プロジェクターなど						
指導目標	1年生はカット・ワインディング・ウェーブなどの国家試験課題の基本を学ばせることや国家試験に準ずる衛生的なことの基本が大切になる。技術を行うにあたり怪我などの無い様にかつ、道具の扱い方・各部名称・それぞれの使用方法を学び円滑に試験課題をこなすことができるように、1年の授業での技術習得が重要になる。						
指導学年	1年	単位数	17	指導時数	510		
成績評価	中間・期末テスト(実技・筆記)の得点及び履修態度などを総合して評価する						

回数	指導項目(節)	指導内容	教科書、補助教材のページなど
	ワインディング		
1～50	基本的な道具の扱い方と基本動作	用具の取り扱い。線の弾き方からブロッキングまで。上巻き、下巻きの動作の練習	美容実習・美容技術理論・プリント・動画
50～120	国家試験課題の巻き方へ	全体の配置確認。巻き方の確認。20分で全体を巻くタイムを追った訓練	美容実習・美容技術理論・プリント・動画
	カット		
121～150	基本的な道具の扱い方と基本動作	コーム・シザーズの扱い方。ブロッキングの手順。シザーズの動かし方。など	美容実習・美容技術理論・プリント・動画
151～220	国家試験課題の切り方	ワンレングス、グラデーションから国家試験のレイヤーカット20分まで。	美容実習・美容技術理論・プリント・動画
	ウェーブ		
221～250	用具の扱い方及び基本動作	ローションの作り方、扱い方、ピンの準備、保管の仕方 ウィッグの取り扱い及び流し方、溶かし方、 コームの使い方など、他基本動作(ウェーブ、各種カール)	美容実習・美容技術理論・プリント・動画
251～320	ウェーブ実技指導	7段構成の確認 ウェーブ・各種カールを使い7段構成を作成。25分で全頭作成まで。	美容実習・美容技術理論・プリント・動画
	シャンプー		
321～340	設備・用具類の使い方とクロス装着など基本動作	声かけ・用具類の使用法 クロス位置・シャワーヘッドの持ち方・手の運びなど	
341～370	サイドシャンプー手順 スキャルプトリートメント バックシャンプー 練習 ヘッド・スパ	体の使い方・シャワーヘッドの持ち方・手順	美容実習・美容技術理論・プリント・動画
	アップ		
371～400	アップスタイル使用用具 ブラッシング・一束	道具の名称・使用方法、使用にあたっての準備 毛髪の梳かし方、ゴムを使用して毛髪を束ねる	美容実習・美容技術理論・プリント・動画
401～430	ファーストステップ～シニヨン ～夜会巻き	梳かす・束ねる・ピンニング スキ毛の作り方・注意事項・スキ毛の作り方・注意事項	各種用具
	ネイル		
431～460	ネイルケア アーティフィシャルネイル ネイルアート	ネイルケア～各用具の使用の仕方～指のマッサージ ペディキュア～足のマッサージまで ネイルチップへのネイルアートなど	美容実習・美容技術理論・プリント・動画 各種用具
	着付け		
461～510	留袖～男子・女子の袴 打掛の技術 伝統多岐な花嫁化粧	留袖着付け技術。帯結び、振袖7着付け技術各種帯結び 男性の羽織、袴、女性の袴技術、打掛着付け、花嫁化粧技術	美容実習・美容技術理論・プリント・動画 各種用具

課目名	美容実習			単位数	13	授業形態	実習
教員名	蒔田 英司	望月ひとみ	実務経験等	美容師の実務経験3年以上			
教員名	長尾 紀子	堀江 則好	実務経験等	美容師の実務経験3年以上			
教員名	甲賀 雅美	手塚 久恵	実務経験等	美容師の実務経験3年以上			
教員名	岡谷 裕美	大石 朋子	実務経験等	美容師の実務経験3年以上			
教員名	黒木 ゆきの	青木 紀子	実務経験等	美容師の実務経験3年以上			
教員名	中村 恵梨香	堀 友加里	実務経験等	美容師の実務経験3年以上			
教科書	美容技術理論1・実習1の教科書						
補助教材	プリント、プロジェクターなど						
指導目標	1年生はカット・ワインディング・ウェーブなどの国家試験課題の基本を学ばせることや国家試験に準ずる衛生的なことの基本が大切になる。技術を行うにあたり怪我などの無い様にかつ、道具の扱い方・各部名称・それぞれの使用方法を学び円滑に試験課題をこなすことができるように、1年の授業での技術習得が重要になる。						
指導学年	2年	単位数	13	指導時数	390		
成績評価	中間・期末テスト(実技・筆記)の得点及び履修態度などを総合して評価する						
回数	指導項目(節)	指導内容			教科書、補助教材のページなど		
	ワインディング						
1～30	国家試験課題 デザイン巻き	ブロッキング、スライス線、ロッドの配置などを再確認する			美容実習・美容技術理論・プリント・動画		
31～100	国家試験課題 デザイン巻き	国家試験レイヤーカットのカットラインの再確認をする			美容実習・美容技術理論・プリント・動画		
	カット						
101～140	国家試験課題 レイヤーカット	国家試験レイヤーカットのカットラインの再確認をする			美容実習・美容技術理論・プリント・動画		
141～210	国家試験課題 レイヤーカット	国家試験合格ラインになるよう指導する。			美容実習・美容技術理論・プリント・動画		
	ウェーブ						
211～240	国家試験課題 ウェーブ	ウェーブの作り方、リッジの状態、各種カールの作り方及びその状態などを再確認しさらにきれいな状態に指導していく			美容実習・美容技術理論・プリント・動画		
241～300	国家試験課題 ウェーブ	国家試験合格ラインになるよう指導する。			美容実習・美容技術理論・プリント・動画		
	シャンプー						
301～320	サイドシャンプー手順 スカルプトリートメント バックシャンプー 練習 ヘッド・スパ	セカンドシャンプー、スカルプトリートメントなどサイドシャンプー及びバックシャンプーで行い即戦力を目指す。			美容実習・美容技術理論・プリント・動画		
	カラーリング						
321～350	酸化染毛剤 酸性染毛料 塗布技術	薬品の違いによるそれぞれの性質 パーマンヘアへの塗布の仕方、リタッチヘアへの塗布の仕方 酸性染毛料のコームテクニック その他塗布技術			美容実習・美容技術理論・プリント・動画		
	エステ						
351～360	用具の使用の仕方 各種マッサージ	器具用具の使用の仕方 フェイシャル及びデコルテマッサージ フェイシャルパックとマスク まで			美容実習・美容技術理論・プリント・動画 各種用具		
	メイク						
361～390	スキンケア、ベースメイク アイメイク、アイブローメイク リップ、ブラッシュオンメイクなど	各種用具の使用の仕方 クレンジング～プロテクティングまで ベースメイク～ファンデーションの塗分け アイライン、アイシャドウなどの使い方、つけまつげのテクニック まつ毛エクステンションのテクニック			美容実習・美容技術理論・プリント・動画		

令和元年度シラバス

静岡県美容専門学校美容科

課 目	美容技術理論①・②		単位数	2	授業形態	講義及び実習
指導教員	長尾紀子、望月ひとみ		実務経験等	美容師の実務経験3年以上		
指導教員	甲賀雅美、手塚久恵		実務経験等	美容師の実務経験3年以上		
指導教員	青木紀子		実務経験等	美容師の実務経験3年以上		
指導教員	蒔田英司、岡谷裕美		実務経験等	美容師の実務経験3年以上		
指導教員	大石朋子、黒木ゆきの		実務経験等	美容師の実務経験3年以上		
指導教員	西陽子、中村恵梨香		実務経験等	美容師の実務経験3年以上		
指導教員	堀友加里		実務経験等	美容師の実務経験3年以上		
教科書	「美容技術理論①・②」（公益社団法人 日本理容美容教育センター）					
補助教材	各種プリント、プロジェクターによる画像、ウィッグなどによる実技の展示など					
指導目標	美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣を養い、工夫と創造の能力とを身につけさせること。					
指導学年	1年	単位数	1	指導時数	30	
成績評価	中間・期末テストの得点及び履修態度などを総合して評価する。					
回	指導項目	指導内容			教材のページ	
		美容技術理論 1				
1～3	作業姿勢、人体各部の名称	安定した姿勢など、顔・指・頭部の名称など			5～13	
4～7	美容用具について	コーム、ブラシ、シザーズ、レザー、ロッド、ヘアアイロン、ドライヤー			15～33	
		第2章				
8～10	シャンプー総論	目的、メカニズム、シャンプー剤成分・種類、注意事項、ブラッシング			35～41	
11	サイドシャンプー	ファーストシャンプー、セカンドシャンプー、指の動き			42～44	
12	バックシャンプー	手順、指の動きシャワーヘッドの使い方			45～48	
13～14	リンス、コンディショナー、トリートメント	役割、違い、成分、種類、各技術			49～55	
15～17	スカルプトリートメント	目的、要素、種類、頭皮のトラブル、育毛剤、マッサージ手順			55～62	
18	ヘッドスパ	プロセス、マッサージ技術			63	
		第3章				
19～20	錯覚現象	様々な錯視現象			65～69	
20～21	デザインの要素	点、線、面、形、大きさ、テクスチャーなど			70～76	
22～23	デザインの原理	群化の法則、方向、比率、シンメトリー、バランス、調和、リズム			77～85	
		第4章				
24	ヘアカッティングとは	目的、使用される道具			87	
25～27	シザーズとレザーの扱い方、材質	持ち方、など			88～91	
28	ヘアカッティングの正しい姿勢	正しい姿勢の異本			92	
29～30	ブロッキング	頭部の基本分割線、基準となる頭部のポイント			93～94	

令和元年度シラバス

静岡県美容専門学校美容科

課 目	美容技術理論①・②		単位数	2	授業形態	講義及び実習
指導教員	長尾紀子、望月ひとみ		実務経験等	美容師の実務経験3年以上		
指導教員	甲賀雅美、手塚久恵		実務経験等	美容師の実務経験3年以上		
指導教員	青木紀子		実務経験等	美容師の実務経験3年以上		
指導教員	蒔田英司、岡谷裕美		実務経験等	美容師の実務経験3年以上		
指導教員	大石朋子、黒木ゆきの		実務経験等	美容師の実務経験3年以上		
指導教員	西陽子、中村恵梨香		実務経験等	美容師の実務経験3年以上		
指導教員	堀友加里		実務経験等	美容師の実務経験3年以上		
教科書	「美容技術理論①・②」（公益社団法人 日本理容美容教育センター）					
補助教材	各種プリント、プロジェクターによる画像、ウィッグなどによる実技の展示など					
指導目標	美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣を養い、工夫と創造の能力とを身につけさせること。					
指導学年	1年	単位数	1	指導時数	30	
成績評価	中間・期末テストの得点及び履修態度などを総合して評価する。					
回	指導項目	指導内容			教材のページ	
31	ヘアカッティングの基礎理論	スライスの種類、パネルと頭皮の角度、カットライン、シルエットなど			95～98	
32～33	ベーシックなカット技法	ワンレングス、グラデーション、レイヤーカット、セიმレングスカット			99～103	
34～37	シザースによるカット技法	ブラントカット、ストロークカット、セニング、スライド、ポインティングなど			104～116	
38～39	レザーによるカット技法	テーパーカット、セニング、ポインティングカットなど			117～124	
		第5章				
40～41	パーマメントウェーブの歴史と現在	ヒート、ウォーム、コールドの歴史			127～129	
42	パーマメントウェーブの理論	毛の構想、ウェーブが形成される仕組み			130～131	
43	パーマ材の分類	パーマ剤の分類 2浴式、1浴式、システムタイプ、加温式タイプ その他			132～134	
44	パーマ剤に関する注意事項	使用前のs注意事項、捜査中の注意事項、			135～137	
45～47	パーマメントウェーブ技術	毛髪診断、流れの順序			138～146	
48～50	ワインディングのバリエーション	巻き方の種類、			147～154	
51	縮毛矯正	縮毛矯正の手順			155～156	
		第6章				
52～53	パーマメントウェーブの歴史と現在	ヒート、ウォーム、コールドの歴史			127～129	
54	パーマメントウェーブの理論	毛の構想、ウェーブが形成される仕組み			130～131	
55	パーマ材の分類	パーマ剤の分類 2浴式、1浴式、システムタイプ、加温式タイプ その他			132～134	
56	パーマ剤に関する注意事項	使用前のs注意事項、捜査中の注意事項、			135～137	
57	パーマメントウェーブ技術	毛髪診断、流れの順序			138～146	
58～59	ワインディングのバリエーション	巻き方の種類、			147～154	
60	縮毛矯正	縮毛矯正の手順			155～156	

令和元年度シラバス

静岡県美容専門学校美容科

課 目	美容技術理論①・②	単位数	3	授業形態	講義及び実習
指導教員	長尾紀子、望月ひとみ	実務経験等		美容師の実務経験3年以上	
指導教員	甲賀雅美、手塚久恵	実務経験等		美容師の実務経験3年以上	
指導教員	青木紀子	実務経験等		美容師の実務経験3年以上	
指導教員	蒔田英司、岡谷裕美	実務経験等		美容師の実務経験3年以上	
指導教員	大石朋子、黒木ゆきの	実務経験等		美容師の実務経験3年以上	
指導教員	西陽子、中村恵梨香	実務経験等		美容師の実務経験3年以上	
指導教員	堀友加里	実務経験等		美容師の実務経験3年以上	
教科書	「美容技術理論①・②」（公益社団法人 日本理容美容教育センター）				
補助教材	各種プリント、プロジェクターによる画像、ウィッグなどによる実技の展示など				
指導目標	美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣を養い、工夫と創造の能力とを身につけさせること。				
指導学年	2年	単位数	1	指導時数	30
成績評価	中間・期末テストの得点及び履修態度などを総合して評価する。				

回	指導項目	指導内容	教材のページ
		第7章	
1	ヘアセッティングとは	基本的な要素、様々なスタイル	159
2	ヘアパーティング	概要	162
3	ヘアシェービング	種類、コームの持ち方、シェーブ時・フィンガーウェーブ時の持ち方	162～163
4～7	ヘアカーリング	各部の名称、様々な分類の仕方、ベースについて、ステムの方向	164～179
		ループの大きさ、ピニング、巻き方の例、	
8～10	ヘアウェービング	各部の名称、分類、カールとウェーブの関係、スキップウェーブ	180～191
		ターンステム、ウェーブの構成	
11～12	ローラーカーリング	特徴、構成要素、ベースの幅と厚さ、毛先の扱い	193～197
13～14	ブロードライ	基礎技術、ハンドドライヤーの持ち方、ブラシの持ち方など	198～204
15	アイロンセッティング	アイロンの持ち方、アイロンカールの種類、スタイリング	205～208
17～18	バックコーミング	バックコーミングの目的、基本技術	209～211
18	アップスタイル	アップスタイルの種類と特徴	212～217
19～20	ヘアピース	種類、製造工程の分類、手入れ法	218～219
20	ヘアカラーリング概論	ヘアカラーの歴史など	221
21	ヘアカラーの種類	流れ図	222
22	ヘアカラーのタイプ別特徴	永久染毛剤、脱色剤、半永久染毛料、その他	223～225
23	染毛のメカニズム	染毛の状況を図で解説	226～227
24	色の基本	色彩の基礎知識	228～229
25～26	毛髪のレベルとアンダートーン	アンダートーンによるヘアカラーの選ぶ方など	230～232
26	パッチテスト	アレルギー反応について	233～234
26	染毛剤「使用時の注意事項	アレルギー反応について	235
27	ヘアカラーリングの道具	道具の名称など	236
28	酸化染毛剤の技術手順	塗布の手順など	237～240
29	酸性染毛料の技術手順	性質と手順	241～242
30	ヘアブリーチ剤	性質と手順	243

令和元年度シラバス

静岡県美容専門学校美容科

課 目	美容技術理論①・②	単位数	3	授業形態	講義及び実習
指導教員	長尾紀子、望月ひとみ	実務経験等		美容師の実務経験3年以上	
指導教員	甲賀雅美、手塚久恵	実務経験等		美容師の実務経験3年以上	
指導教員	青木紀子	実務経験等		美容師の実務経験3年以上	
指導教員	蒔田英司、岡谷裕美	実務経験等		美容師の実務経験3年以上	
指導教員	大石朋子、黒木ゆきの	実務経験等		美容師の実務経験3年以上	
指導教員	西陽子、中村恵梨香	実務経験等		美容師の実務経験3年以上	
指導教員	堀友加里	実務経験等		美容師の実務経験3年以上	
教科書	「美容技術理論①・②」（公益社団法人 日本理容美容教育センター）				
補助教材	各種プリント、プロジェクターによる画像、ウィッグなどによる実技の展示など				
指導目標	美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣を養い、工夫と創造の能力とを身につけさせること。				
指導学年	2年	単位数	1	指導時数	30
成績評価	中間・期末テストの得点及び履修態度などを総合して評価する。				

回	指導項目	指導内容	教材のページ
		美容技術理論 2 第8書	
31	エステティック概論	歴史、範囲、注意点、心得	5～7
32	皮膚の生理と構造	皮膚の構造	8～10
33	カウンセリング	目的、役割、実際の進め方、カルテの記入	11～15
34	美容におけるマッサージ理論	基本主義	16～18
35	フェイシャルケア技術	効果、方法	18～21
36	フェイシャル及びデコルテマッサージ	手順、手の動き、捜査ポイント	21～26
37	フェイシャルパック	種類、技術の一例	27～28
38	ボディケア技術	種類と特徴、有酸素運動、筋力トレーニング、ストレッチング	29～31
39	ボディマッサージ	ポイント、背中中のマッサージ、捜査ポイント	32～34
		第9章	
40	ネイル技術の概論、種類	ネイルケア、アーティフィシャルネイル、ネイルアート	37～40
41	爪の構造と機能	各部の名称など、カットの形状など	40～41
42	ネイル技術と公衆衛生	消毒法の種類、テーブルセッティング	42～44
43～45	カウンセリング、ネイルケア	用具、手順、手足のマッサージなど	45～71
		第10章	
46	メイクアップ概論		73
47	顔の形態的な視察	顔の7プロポーション、骨格と筋肉、立体研究、麵取り	74～79
48	メイクアップと色彩	色の三属性、マンセル表色系、角度配色	80～82
49	皮膚の生理と構造	皮膚の生理と構造、メイクアップの道具	83
50	スキンケア	クレンジング、トーンアップ、プロテクティング	86～88
51～54	ベースメイクアップ	ファンデーションの塗り方、多色塗り、 ハイライト、ローラ糸、カバーホワイト、パウダリング	88～95
55	アイメイクアップ	アイライン・アイシャドー・マスカラテクニック、つけまつ毛テクニック	95～97
56	アイブローメイクアップ	眉の整え方、シェーディング	98～100
57	リップメイクアップなど	リップブラシの使い方、ブラッシュオンメイクアップ	101～103
58～60	まつ毛エクステンション	衛生及び保健、カウンセリング、その他注意事項、実技	104～113

令和元年度シラバス

静岡県美容専門学校美容科

課 目	美容技術理論①・②	単位数	3	授業形態	講義及び実習
指導教員	長尾紀子、望月ひとみ	実務経験等		美容師の実務経験3年以上	
指導教員	甲賀雅美、手塚久恵	実務経験等		美容師の実務経験3年以上	
指導教員	青木紀子	実務経験等		美容師の実務経験3年以上	
指導教員	蒔田英司、岡谷裕美	実務経験等		美容師の実務経験3年以上	
指導教員	大石朋子、黒木ゆきの	実務経験等		美容師の実務経験3年以上	
指導教員	西陽子、中村恵梨香	実務経験等		美容師の実務経験3年以上	
指導教員	堀友加里	実務経験等		美容師の実務経験3年以上	
教科書	「美容技術理論①・②」(公益社団法人 日本理容美容教育センター)				
補助教材	各種プリント、プロジェクターによる画像、ウィッグなどによる実技の展示など				
指導目標	美容技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣を養い、工夫と創造の能力とを身につけさせること。				
指導学年	2年	単位数	1	指導時数	30
成績評価	中間・期末テストの得点及び履修態度などを総合して評価する。				

回	指導項目	指導内容	教材のページ
		第11章	
61	日本髪由来	日本髪の歴史	113
62	日本髪各部の名称	日本髪の素面	113
63～64	日本髪の種類と特徴	日本髪各種類の名称、特徴、分類など	114～115
65	日本髪の装飾品	日本髪、文欽高品田などにつける装飾品	117
66～67	日本髪の結髪道具	櫛類、髷類など	119～120
68	日本髪の結髪技術	用意する用具、結髪の一例	121～125
69	日本髪の手入れ	手入れの方法	125
70	かつら	装着の仕方、しまい方、手入れ方法など	126～133
		第12章	
71	着付けの目的	着付けの目的	135
72	礼装	女子礼装、男子礼装、礼装生地、準礼装、心得	136～138
73	着物と季節	着物の仕立と季節	139
74	着物のいろいろ	準礼装、カジュアル、その他の着物の種類	140～143
75	帯	帯の種類	144～145
76	小物	小物の種類	146～147
77	着物各部の名称	着物の前、後ろの各部名称	148
79	着物のたたみ方	本だたみ、夜倉だたみ、長襦袢のたたみかた	149～151
80	着付けの一般的要領	選び方、ひもの位置、模様的位置、全体のバランス、補正など	152
81	留袖着付け技術	補正、長襦袢の着付け、着物着付け、帯結び	153～155
82	振袖着付け技術	補正、長襦袢の着付け、着物着付け、帯結び	156～158
83	帯締め、帯揚げの結び方	丸組、平打ち、帯揚げの結び方	158～161
84	男子礼装羽織、袴着付け技術	補正、長襦袢着付け、着物着付け、帯結び、袴をつける、羽織を着	161～164
85	羽織のひもの結び方	男性の結び方、女性の結び方	165
86	女子袴着付け技術	補正、長襦袢着付け、着物着付け、帯結び、袴をつける、羽織を着	166～168
87	婚着付けの際の注意事項	身だしなみ、備え、細かい配慮、動作への注意	168～169
88	和装花嫁	白無垢、色打掛、夏の花嫁、黒のお引きずり、着付け方	170～173
89	洋装花嫁	Aライン、ベルライン、ソフトスレンダーライン、プリンセスライン	174～178
90		ミディドレス、ビステッドレス、パールの知識	

令和元年度シラバス

静岡県美容専門学校美容科

課 目	美容メイク		単位数	2	授業形態	講義・実習
指導教員	甲賀 雅美	実務経験等	美美容師の実務経験3年以上			
指導教員	岡谷 裕美	実務経験等	美美容師の実務経験3年以上			
教科書	「美容技術理論②」「美容実習②」（公益社団法人 日本理容美容教育センター）					
補助教材	板書、検定対策プリント、プロジェクターによる画像など					
指導目標	メイクアップの歴史、現状のほか、目的、種類、特に、技術上の注意を学び日本メイクアップ連盟主催のメイクアップ検定3級全員合格及び2級合格に向けて、筆記、実技の指導を行う。 メイクアップアーティストとしての資質向上と、社会的地位の向上を目的として、実践ですぐに役立つための理論、美容実習で行う、基礎的なメイクアップを修得し、使用される化粧品などの薬剤、使用方法、使用上の注意を身に付けさせるとともに、モデルに実際にメイクアップを行い、様々な技法を学び、技術の向上をはかる。					
指導学年	1年	単位数	2単位	指導時数	60	
成績評価	中間・期末テストの得点、検定可否結果、及び履修態度などを総合して評価する。					

回	指導項目	指導内容	教材のページ
	技術理論・美容実習		技術理論②
1～2	① 皮膚の生理と構造	美容技術を行ううえで皮膚の構造やはたらきを知る	P148～P10
3～4	② メイクアップ概論	形態学・色彩心理学・実験心理学に基づいて基礎を学ぶ	P73～P77
5～6	③ スキンケア	メイクアップ前の肌の状態を整えるために行う	P86～P88
7～8	④ ベースメイクアップ	ファンデーションの選び方、塗布の手順と塗り方を理解させる	P88～P95
9～10	⑤ アイメイクアップ	まぶたが立体的に、目の形がはっきりと美しく、表情豊かに見せる	P98～P100
11～12	⑥ リップメイクアップ	他人にあたえる印象を左右する美しい唇について学ぶ	P101～P102
13～14	⑦ ブラッシュオンメイクアップ	全体のバランスを見ながら、頬に血色を補い、くすみをカバーする方法	P103
15～20	⑧ スキンケア～ブラッシュオン	アイモデルでトータル技術を行う	美容実習②
21～25	⑨ 3級検定対策（実技）	メイクアップ検定3級実技試験時間50分以内でモデルに技術を行う	P60～P81
26～30	⑩ 3級検定対策（筆記）	筆記試験過去問題、連習問題を行い検定に備える	
31～35	⑪ ナチュラルメイク復習（実技）	3級の内容の復習	P60～P81
36～41	⑫ ファンデーションの多色塗り	骨格の凸凹を意識して立体感を強調したテクニックを学ぶ	P60～P81
42～54	2級検定対策（実技）	メイクアップ検定2級実技試験時間50分以内でモデルに技術を行う	
55～60	2級検定対策（筆記）	筆記試験過去問題、連習問題を行い検定に備える	

令和元年度シラバス

静岡県美容専門学校美容科

課 目	美容メイク		単位数	1	授業形態	講義及び実習
指導教員	大石 朋子		実務経験等	美容師の実務経験3年以上		
指導教員			実務経験等			
教科書	骨格のみ「美容技術理論②」を使用					
補助教材	プリント、プロジェクターによる画像など					
指導目標	1年生で学んだ基礎的なメイクアップ技術を踏まえて特殊メイクを行い、様々な技術を応用し幅広い分野のメイクアップ技術の向上を図る。					
指導学年	2年	単位数	1単位	指導時数	30	
成績評価	中間・期末テストの得点、検定可否結果、及び履修態度などを総合して評価する。					

回	指導項目	指導内容	使用教材
	技術理論・美容実習		
1～2	① 傷メイク(打撲・やけど)	傷をつける位置、傷が日にちで経過していく	手順のプリント
3～4	② 傷メイク(血のり)	※自分の手でメイク 出来立ての傷 時間か経過した傷	
5～6	③ 骨格	自分の骨格を理解	教科書P79
7～8	④ 骨格	自分の骨格を理解	
9～10	⑤ 映像メイク	映像メイクの説明	
11～12	⑥ 映像メイク	映像メイクの説明	
13～14	⑦ キャッツ風メイク	※自分の顔でメイク 手順・色ののせ方の説明	手順のプリント
15～16	⑧ キャッツ風メイクテスト	自分の骨格を理解し工夫して作る	
17～18	⑨ 老人メイク	描き方の説明 しわの入れ方と、ハイライトの入れ方と入れる位置に注意させる	
19～20	⑩ 老人メイクテスト	想像力を養う	
21～22	⑩ 歌舞伎メイク	隈取の説明と形	手順のプリント
23～24	⑪ 歌舞伎メイク	隈取の説明と形	
25～26	⑫ 宝塚メイク	宝塚の基本メイクの描き方の説明	手順のプリント
27～28	⑬ 宝塚メイク	宝塚の基本メイクの描き方の説明	
29～30	⑭ 自由課題	課題を発表し、意見する。	

令和元年度シラバス

静岡県美容専門学校美容科

課 目	美容着付		単位数	1	授業形態	実習
指導教員	青木 紀子	実務経験等		美容師の実務経験3年以上		
指導教員	中村 恵利香	実務経験等		美容師の実務経験3年以上		
教科書	「実習2」「技術理論2」(公益社団法人 日本理容美容教育センター)					
補助教材	各種プリント、iPad、プロジェクターによる画像など					
指導目標	着る人にあったバランス、季節に合った色調と素材、目的や着こなしに合った着付や基礎的部分の理解。浴衣着付けをマスターする。					
指導学年	1年	単位数	1単位	指導時数	30	
成績評価	中間・期末テストの得点及び履修態度などを総合して評価する。					

回	指導項目	指導内容	教材のページ
1～4	着付理論	着付の目的、礼装から小物まで着物の種類や季節	P135-P147
5～8	着物たたみ方	着物たたみ方3種 着物各部の名称	P148-P150
9～10	たたみ方テスト	着物のたたみ方確認	P148-P150
11	帯や小物のたたみ方	仕度の仕方から収納の仕方	iPad
12	浴衣着付の補整	体系に合った補整の仕方	iPad
13	浴衣着付	着付準備の仕方(浴衣・帯・小物類)	iPad
14	浴衣着付	自装による浴衣着付(腰紐まで)	iPad
15	浴衣着付	自装による浴衣着付(襟の決め方・胸紐まで)	iPad
16	浴衣着付	自装による浴衣着付(お端折り・伊達締めまで)	iPad
17	浴衣着付	自装による浴衣着付 帯結び	iPad
18	浴衣着付	自装による浴衣着付 帯結び変形	iPad
19	浴衣着付	他装による着付(腰紐まで)	iPad
20	浴衣着付	他装による着付(襟の決め方・胸紐まで)	iPad
21	浴衣着付	他装による着付(お端折り・伊達締めまで)	iPad
19～22	浴衣着付	他装による着付 帯結び	iPad
23	留袖着付について	留袖着付技術のついでの説明	P152-P153
24	留袖着付の下着・準備の方法	留袖着付補整の仕方 下着の着付方	iPad
25～26	留袖着付補整	体系に合った補整の仕方	P154
27～28	留袖着付長襦袢	長襦袢着付(胸紐まで)	P154
29～30	留袖着付長襦袢	長襦袢着付(腰紐・伊達締め)	P155

令和元年度シラバス

静岡県美容専門学校美容科

課 目	美容着付	単位数	1	授業形態	実習
指導教員	長尾 紀子	実務経験等	美容師の実務経験3年以上		
指導教員	大石 朋子	実務経験等	美容師の実務経験3年以上		
教科書	「技術理論2」「実習2」、(公益社団法人 日本理容美容教育センター)				
補助教材	各種プリント、プロジェクターによる画像など				
指導目標	美しい着付とはどのようなものか。直線的に縫い上げられた着物を、曲面である体に美しく着せるためには、様々な工夫が必要であり、それを生かす技術が必要であることを教える。着る人にあったバランス、目的や、着こなしにあった二重太鼓の帯結びを習得させる。				
指導学年	2年	単位数	1単位	指導時数	30
成績評価	中間・期末テストの得点及び履修態度などを総合して評価する。				

回	指導項目	指導内容	教材のページ
1	1年の復習	着物の名称、本だたみ、留袖に必要なものの確認	技理2 P150～152
2	肌襦袢・裾除けの着せ方	肌襦袢・裾除けの着せ方	実習2 P116 プリント参照
3	補整	正しい補整の仕方(肩、胸、腰、胴周り、背中のかぼみ)	実習2 P116 プリント参照
4	長襦袢	長襦袢の仮紐の仕方(背ひも)	実習2 P117 プリント参照
5	長襦袢	長襦袢の着せ方(胸紐)	実習2 P118 プリント参照
6～7	長襦袢	長襦袢の丈上げの仕方(腰紐)、伊達締め	実習2 P119 プリント参照
8	長襦袢	長襦袢のたたみ方	技理2 P153
9	留袖着付	留袖の準備の仕方(準備だたみ、比翼襟、着物の襟の止め)	実習2 P119
10	留袖着付	留袖着付け(上前、下前の上げ方、腰ひもまで)	実習2 P119～121
11	留袖着付	留袖着付け(共襟の幅の出し方、仮止めの仕方)	実習2 P119～121
12	留袖着付	留袖着付け 襟(半襟の出し方、決め方)	実習2 P119～122
13	留袖着付	留袖着付け 襟(お端折の内側の一重の仕方)胸紐	実習2 P119～123
14	留袖着付	留袖着付け お端折の仕方	実習2 P119～123
15	留袖着付	留袖着付け 伊達締めまで	実習2 P119～124
16	帯結び袋帯(二重太鼓)	帯のセッティングの仕方、帯の種類、小物の復習	技理2 P146～149
17	帯結び袋帯(二重太鼓)	ミニチュア帯(二重太鼓)	実習2 P123～127
18	帯結び袋帯(二重太鼓)	幅出しの仕方～帯山まで	実習2 P123～124
19	帯結び袋帯(二重太鼓)	お太鼓の大きさ、たれ先、帯揚げ、帯締めの仕方	実習2 P123～127
20～30	留袖着付、帯結び	留袖着付、帯結び(二重太鼓)	実習2 P116～127

令和元年度シラバス

静岡県美容専門学校美容科

課 目	ネイルアート		単位数	2	授業形態	講義及び実習
教員名	手塚 久恵		実務経験等	美容師の実務経験3年以上		
教材名	教科書,JNAテクニカルシステム ジェルネイル,JNA動画,					
指導目標	爪の構造を学びジェルの特徴を学ぶ					
指導学年	1年	単位数	2単位	指導時数	60	
成績評価	中間・期末テストの得点及び履修態度などを総合して評価する。					
時数	指導項目(節)	指導内容	教科書、補助教材			
1～4	爪の構造と働き	爪の各部名称を覚える	JNAテクニカルシステム ジェルネイル			
5～8	ジェルネイルの用具用材	用具の名前使い方、テーブルセッティング	JNAテクニカルシステム ジェルネイル			
9～12	用具の衛生管理	消毒法を学ぶ	JNAテクニカルシステム ジェルネイル			
13～16	爪の病気	爪の病気を学ぶ	JNAテクニカルシステム ジェルネイル			
17～18	ジェルネイルの安全な施術とトラブル防止	安全に施術できるようにする	JNAテクニカルシステム ジェルネイル			
19～24	ネイルケア	衛生的に使用しケアを覚える	JNAテクニカルシステム ジェルネイル			
25～28	ポリッシュカラーリング	ポリッシュのカラーリングを学ぶ	JNAテクニカルシステム ジェルネイル			
29～30	ジェルネイル概論	ジェルの概論を学ぶ	JNAテクニカルシステム ジェルネイル			
31～32	ジェルネイルの材料の基礎理論	ジェルが硬化する仕組み知識を覚える	JNAテクニカルシステム ジェルネイル			
33～36	ジェルカラーリング	カラーリングに必要な下準備、ベースジェル・カラージェル・トップジェルを塗る方法。	JNAテクニカルシステム ジェルネイル			
37～40	ジェルアート技術 ピーコック	ピーコックをマスターする アートをマスターする。	JNAテクニカルシステム ジェルネイル			
41～46	ジェル検定の流れ	初級検定の流れをマスター、 テーブルセッティングからケア・アートを施すまでを学ぶ。	JNAテクニカルシステム ジェルネイル			
47～48	ソークオフジェルのオフ	ジェルのオフを学ぶ。スムーズに行えるようにする。	JNAテクニカルシステム ジェルネイル			
49～54	ジェル検定の流れ	タイムを意識して検定の時間通りに施術をしていく。	JNAテクニカルシステム ジェルネイル			
55～56	ハンドマッサージ	ハンドマッサージを覚え人に施術できるように練習する。	技術理論Ⅱ			
57～58	フラワーアート	絵具を使用しJNEC技能検定試験を受験できるように練習をする	JNAテクニカルシステム ジェルネイル			
59～60	ジェルアート技術	検定以外のジェルのアートを勉強する。	JNEC動画			